

# デーノタメ遺跡の森から まちづくりを

## 動き出した市民活動

現在、デーノタメ遺跡の大半は雑木林におおわれ、一部が草原となっています。個人の私有地であるため、普段は立ち入ることができませんが、昨年の秋から地権者の了解のもと、市民有志の皆さん（北本雑木林の会ほか）による森の清掃活動が始まりました。清掃活動は、縄文時代中期の集落と重なる雑木林で始まり、枯れた木や枝を除去し、下草を刈り、落ち葉を掃いて堆肥箱に詰めるという作業です。子どもから高齢者まで、約60人の市民の皆さんが集



い、森の中で汗を流しつつ、縄文時代の生活に思いを馳せながら作業を楽しんでいる様子でした。

この活動は、年明けの1月から8月まで、オオタカの繁殖に配慮して中断していましたが、秋の深まる11月から再開され、散策路を整備するワークショップで縄文人が好んだオニグルミを石器で割って食べるなど、その感触や味覚を体験しました。今後も縄文人の知恵に学ぶ親子向けのワークショップを、月に一回のペースで開催する予定だそうです。

## 遺跡を地域へ 活かしていくために

今後、この遺跡を「地域の宝」として活かしていくためには、市民の皆さんの熱のこもった持続可能な活動が大切です。このことが考古学的な価値とは別に、史跡の価値を左右するのです。

市としても、市民の皆さんと一緒に、この史跡を魅力あるものに育て、デーノタメの森からまちづくりを考えていきたいと願っています。

## &green fanclub って何??

北本市シティプロモーションLINEアカウントの「&green fanclub」。定期的にお知らせやイベント情報を配信してくれるので、とっても便利なんです。

夏休みのとある日の夜、「&green fanclub」から、夏休み特別企画「グリコピア・イースト」&「埼玉養蜂」工場見学ツアーのお知らせが来たのですぐに申込みをし、子どもたちと一緒に参加してきました。

「グリコピア・イースト」&「埼玉養蜂」工場見学ツアー。後日、担当者の方からお聞きしましたが、応募が殺到したとのこと。

グリコピア・イーストには、わたしは1回だけ来たことがあり、子どもたちは幼稚園と小学校の見学授業で何度か行ったことがありました。ツアーでプリッツの試食タイムがあり、「え?グリコ工場見学って試食あるの?やったー!」という子どもたち。ここ数年、コロナ禍を過ごしていたので、工場見学は試食ができるってことをすっかり忘れていました。美味しそうな匂いに囲まれ、試食もおかわりして、お土産ももらいお腹も心も大満足!

そして、次は「埼玉養蜂」工場へ。蜂のお勉強、はちみつ採り方、蜂の模型や、養蜂用具の説明、はちみつの種類など詳しく教えていただき、蜂蜜の製造工程や検品の様子を見学。

そしてこちらは、色々なはちみつのテイastingです。カナダ産・オーストラリア産・ハンガリー産の違いを親子で体験。

産地や花によって味が違うことを舌でも学び、お土産をもらい大満足の工場見学でした。後日スーパーで見つけてから、我が家のヨーグルトにかけるはちみつは埼玉養蜂さんのオーストラリア産です。親子でハマってます。

定期的に、「&green fanclub」からイベントやワークショップ情報、市内のお店の紹介のお知らせがくるので、北本市をもっと楽しめます。皆さんも、ぜひ登録してくださいね。

北本市シティプロモーション  
公式LINEアカウント  
「&green fanclub」



## 突撃! 市民リポーター



小宮山菜津美さん

あなたのやってみたいを応援! &green project 発

## きたもとクラフトマーケット開催

市役所芝生広場で定期開催中の「&green market (アンドグリーンマーケット)」に出店する「今井さんちの新鮮野菜」の今井邦夫さんが企画・運営を行う「きたもとクラフトマーケット」を開催します。

ハンドメイド作品ブースを中心に、キッチンカーや飲食の出店を予定。ぜひ、お越しください。

📅 12月10日(日) 10:00~15:00 📍市役所

共催 きたもとクラフトマーケット 北本市

協力 暮らしの編集室

📍市長公室シティプロモーション・

広報担当 ☎ 511-9119

Instagram (@kitamoto\_craft\_market)



### &green project とは

北本のまちを舞台に、あなたがやってみたいアイデアを、マッチングを通して実現します。採択されたアイデアは、北本市と一緒に、実現までのコーディネートと広報活動の支援を行います。

## シンポジウム

# デーノタメ遺跡から見た 縄文の食文化

📅 令和6年1月20日(土) 13:00~16:30 📍文化センター

- ① デーノタメ遺跡の魅力を語る
- ② 「縄文文化の変遷からみたデーノタメ遺跡」  
阿部 芳郎 (明治大学教授)
- ③ 「縄文の木の美食を考える」  
栗島 義明 (黒曜石研究センター員)
- ④ 「土器のオコゲから加工対象物を明らかにする」  
米田 穰 (東京大学総合研究博物館教授)

申込  
不要

入場  
無料

同日開催「『発掘された日本列島』里帰り展」9:30~16:30

📍文化財保護課 ☎ 594-5566



マタタビ



トチノキ